

まつど SDGs キャラバンメンバーシップ宣言書

2025 年 3 月 18 日

企業・団体等名称 生活クラブ生活協同組合 松戸ブロック

代表者役職・氏名 新井 教裕

SDGs 達成に向けて、以下のとおり取り組むことを宣言します。

1 SDGs 達成に向けて、現在取り組んでいること

生活クラブは、生産から消費、廃棄に至るすべての過程で「安全・健康・環境」を最大限に追求してきました。そして、2015 年からは、“サステイナブルなひと、生活クラブ” をスローガンとして掲げ、限りある資源を未来の子どもたちと分かち合うことを宣言し、人々のゆたかな関係性に支えられた、希望の持てる持続可能な地域づくりにも取り組んでいます。

2 今後の SDGs 達成に向けて、(1)目指す方向(方針)(2)具体的に組みたいこと

(1)目指す方向(方針)

「生活クラブ 2030 行動宣言」には 11 の重要目標があります。

そのどれもが、日々の選択や一歩踏み出すことで達成に近づく目標です。生活クラブに関わるすべての人々とともに、サステイナブルな未来をつくっていくことを宣言し、実行していくことを約束します。

- ①食料主権の考え方を基軸とした、国内生産の追求と、公正な調達を行ないます。
- ②素材本来の味、食材にまつわる知恵や文化を大切にして健康で豊かな食の実現をはかります。
- ③地球の生態系を維持するため、海や陸の環境保全と気候危機対策に取り組めます。
- ④社会の存続をおびやかす危機への対策をすすめる、暮らしと未来を守ります。
- ⑤原発のない社会をめざし、再生可能エネルギーの生産と普及に取り組めます。
- ⑥誰もが個性を活かしながら、安心して生活を営める地域と社会をつくれます。
- ⑦貧困と孤立を見逃さず、自立に向けて寄り添い、支え合い、多様な居場所と働き方をつくれます。
- ⑧非戦と共生の立場を貫き、平和で公正な社会をめざします。
- ⑨ジェンダー平等と多様な働き方を実現します。
- ⑩他団体や行政と連携し、新たな環境保全活動に取り組めます。
- ⑪情報開示と自主管理を基本とし、自ら考え、決め、実行します。

(2)具体的に組みたいこと

- ・必要のない添加物や薬剤の使用を限りなく削減し、健康を保つことに貢献する食材の使い方や摂り方などの情報を積極的に共有します。
- ・繰り返し使えるリユースびんで環境負荷を減らすことを積極的に伝え、回収率を上げます。
- ・地球を過熱化する温室効果ガスの排出削減に取り組めます。
- ・使う電気を減らすと同時に、原発や化石燃料に頼らない社会をめざします。再生可能エネルギーを中心とした、「生活クラブでんき」の利用をすすめます。
- ・あらゆる世代や状況下の人たちが元気で生きがいを持ち、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、支えあい、たすけあう、誰もが暮らしやすい地域づくりをすすめていきます。

3 取組を通じて目指したいSDGsのゴール(☑を入れてください。複数選択可)

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
☒	☒	☒	☒	☒	☒
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任
☒	☒	☐	☒	☒	☒
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	
☒	☒	☒	☒	☒	